

土曜

SATURDAY

ライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣医の
カルテ

86



ハニーアニマル
クリニック院長
(富山市)
西尾 洋介

3月になり富山にも少しづつ春

が近づいてきました。暖かくなると散歩に出かける機会も多くなるのではないか? そこで

気を付けていただきたいのがマダニやノミです。暖かくなるとマダニやノミの活動も活発になります。

マダニは特別な場所ではなく普段行く散歩道や公園、河川敷など草むらに生息し、散歩にやつてきた動物に寄生する機会を狙っています。散歩に来たペットが草むらに顔を突っ込んだ時に飛びつくので、目の周りや耳の周りに付いていることが多いです。無理やり取り除こうとするヒマダニの口器

マダニとノミ



マダニとノミを予防する処置を受ける猫

草むらで寄生予防が大切

込んでしまったこともあります。人が洋服の裾に付けててしまい、ペットに寄生することもあります。

非常に困るのは温度、湿度とも保たれやすい現代の気密性の高い家中で、ノミが卵から成虫になり大繁殖してしまうことです。ゴマ粒ほどの大きさの目に見えないノミはわずかにぱさりで、残りの95%は卵、幼虫、さなぎの状態で潜んでいます。

ノミは刺すことによって激しい

下するタイプ、犬には猫と同様に滴下するタイプと食べるタイプの薬があり、しっかりと駆除、予防することができます。詳細はかかりつけの動物病院でお尋ねください。

狂犬病の予防接種や犬フィラリア症の予防も大切です。ぜひお忘れなく。

病気になる前にしっかり予防することも優しさの一つですね。さあ、準備万端で安心してお散歩に出かけましょう!

が皮膚の中に残ってしまい化膿することもありますので、動物病院で処置を受けましょう。マダニはペットではなく人にも多くの病原体を媒介します。ペットでは貧血、皮膚炎、犬バベシア症、SFTS(重症熱性血小板減少症)など、人ではライム病、

日本紅斑熱、SFTSなどを起こし、重症化すると死に至ることもあります。SFTSは感染したペットから人への感染も報告されています。ノミも散歩中に草むらで寄生しますが、それ以外に野良猫や外にいる猫がノミの卵を敷地内に持ち出る

が皮膚の中に残ってしまうことがありますので、動物病院で処置を受けましょう。マダニはペットではなく人でも貧血、ノミアレルギー性皮膚炎、瓜実条虫症(サンダムシ)など、人ではノミ刺咬症、瓜実条虫症などを起こします。被害を防ぐには予防が大切です。猫には首から背中にかけて滴下するタイプ、犬には猫と同様に滴下するタイプと食べるタイプの薬があり、しっかりと駆除、予防することができます。詳細はかかりつけの動物病院でお尋ねください。

狂犬病の予防接種や犬フィラリア症の予防も大切です。ぜひお忘れなく。

病気になる前にしっかり予防することも優しさの一つですね。さあ、準備万端で安心してお散歩に出かけましょう!